



▲境内に多くの露店が並び、にぎわいをみせた佐沼互市

## 古くから親しまれる伝統行事

迫で佐沼互市を開催

佐沼互市が4月21日から23日までの3日間、津島神社境内で開催されました。毎年恒例の互市は春と秋に開催され、花や植木や山野草、ざるや桶の工芸品、刃物、苗木、漬け物などの農産加工品、日用雑貨などが露店に多く並び、市内外から大勢の方が訪れました。店と会話をしながらお目当ての品を求めている姿も見え、訪れた人は互市の雰囲気を楽しんでいました。市内から訪れていた夫婦は「地元の人と触れ合えるので毎年楽しみに来ています。今年も素晴らしい竹かごが見つかりました」と話していました。

## 不審者から児童を守る

登米で防犯ブザー贈呈式

4月3日に登米小学校で、交通安全協会登米支部から登米小へ防犯ブザーが贈られ、その贈呈式が行われました。これは昨今の世間情勢で不審者への対応が強く求められている中で、登米地区でも新入生を守ろうという目的で行われたものです。当日は交通安全を呼び掛けるランドセルカバーも贈呈され、交通・防犯の両面から新入生を守りたいという同協会の意向が表されました。今回の贈呈だけでなく、年間を通しての活動の中で、広く交通安全を呼び掛けていきます。



▲児童の安全確保に役立て下さいとブザーが贈呈されました

## うずまきナルト 登米市に参上

中田の石ノ森章太郎記念館で特別企画展

石ノ森章太郎ふるさと記念館第26回特別企画展「NARUTOーナルトー展」が7月13日まで同館で開催されています。館内には、テレビ・劇場版の原画展示や記念撮影コーナーのほか、クイズに正解すると景品がもらえるクイズラリーも実施されており、多くの家族連れでにぎわっています。毎週日曜日とゴールデンウィーク期間中（5月3～6日）は、1日3回ナルトと握手・撮影会も開催されます。東北で初めて開催される「NARUTOーナルトー展」に、ご家族揃ってぜひご来館ください。



▲館内にはナルトの模型やパネルが数多く展示しています

## 福祉で協働のまちづくり

石越でわがまち福祉フォーラム

わがまち福祉フォーラムが3月29日、石越総合支所で開催され、住民など80人が参加しました。当日は、東北福祉大学教授の小松洋吉さんを講師に招き基調講演が行われ、参加者は熱心に聴講していました。引き続き行われたパネルフォーラムでは、福祉の現場に携わる人がそれぞれの立場で現在の活動について報告し、活動のネットワークを広げました。また、石越町ボランティア協会から市消防防災センターへ寄贈したプルタブを集めて製作した車椅子（プルタブ5号）の贈呈式も行われました。



▲熱心に講師やパネラーの話を聞く参加者



▲道行くドライバー一人一人に安全運転を呼び掛けました。

## 和やかな気持ちで運転を

東和で安全運転を呼び掛け

春の全国交通安全運動に合わせ、交通事故防止「レッド作戦」が4月7日、東和総合支所前の国道で行われました。この事業は、ドライバーに和やかな気持ちを持って安全運転を心掛けてもらおうと、花苗を手渡しているもので、東和町交通安全母の会など関係団体から50人が参加しました。参加者は「安全運転でよろしくお願ひします」と呼び掛けながら、レッド作戦の名前にちなんだ赤いカルセオラリアの花苗を手渡すと、ドライバーは笑顔で受け取り、安全運転を約束していました。

## 平筒沼で自慢の腕を振るう

米山で第15回平筒沼へら鮎釣り大会

平筒沼ふれあい公園で、第15回平筒沼へら鮎釣り大会が4月13日、開催されました。公園では毎年約1トン（約5,000匹）の稚魚を放流しており、県内でも有数のへらブナ釣りのメッカとして知られています。当日は約152人のへらブナ釣り名人・愛好家が集まり、それぞれが大物を目指して自慢の腕を存分に振りました。表彰式では、8,175gを釣り上げて優勝した村井魚姿さん（石巻市）らへ表彰があり、その後、毎年恒例の大抽選会が行われ、地元特産物などの賞品が参加者に手渡されました。



▲参加者は思い思いのポイントで大物を狙っていました